

平成26年度

社会福祉法人 鹿角市社会福祉協議会事業計画（案）

《スローガン》

「ともに支え合う 福祉のまちづくりをめざして」

《事業方針》

～地域とのつながりを大切に、共に地域福祉を推進していきます～

《行動目標》

1. 地域の住民や団体の相互理解と協働（共働）・連携による福祉活動の推進に努めます。
2. 利用者目線で福祉ニーズを把握し総合的な支援体制の実現に努めます。
3. 安定した事業所運営を継続するため、信頼され、効率のよい経営に努めます。
4. 社協活動への理解を得るため、市民に見られているという意識を常に持ち、一層の啓蒙・周知に努めます。
5. 職員が常に地域状況を把握し、職員相互の情報共有を図るため組織の活性化と日常的なコミュニケーションに努めます。

《事業計画》

1. 市民による支え合い助け合いのあるまちづくり

1-1 地域活動の拠点・「地域で支えあう住民組織づくり」

- (1) 地域活動の拠点・「地域で支えあう住民組織（小地域ネットワーク事業）」づくり
 - ・高齢者や障がい者等の要援護者をはじめ、誰もが地域のなかで孤立した生活を送ることのないよう、互いに支え合う地域福祉ネットワーク活動を支援します。
 - ①助成金による立ち上げ支援の実施（1自治会 3万円）：新たに3自治会の新設を目指します。
 - ②継続活動への支援：活動内容に応じた助成金の継続や職員派遣など行い活動を応援します。
- (2) 小地域ネットワーク活動研修会の開催
 - 小地域ネットワーク活動の充実をめざして、自治会役員や福祉関係者を対象とした研修会を開催します。

1-2 地域のつながりづくり

- (1) 福祉員活動の推進
 - 社協と地域のかけ橋となる福祉員の配置をお願いし、自治会の中での地域福祉活動の推進を図ります。
 - ・各種研修会等の実施：地域の福祉員・自治会長・民生委員を中心とした地域福祉活動のリーダー育成を図ります。
- (2) 福祉座談会の開催
 - ・地域住民のみなさんと「福祉」をテーマにした情報交換や勉強会へ積極的に出向きます。
- (3) 地域巡回型介護予防事業「地域生き生き元気塾」の受託
 - ・社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び介護が必要にならないようにするための身体づくりを目的に、地域の自主性や主体性を重視した事業を実施。（鹿角市委託事業）
- (4) 一人暮らし高齢者等の交流会を開催
 - ・閉じこもり予防と当事者同士・地域住民との交流を図り自立した生活をめざして開催します。

1-3 市民活動・ボランティア活動への協力支援

(1) ボランティア活動の推進

- ①ボランティアセンター機能（登録、相談、育成）の充実
 - ・ボランティア活動についての各種相談に対応します。
 - ・ボランティア情報の提供を図ります。
- ②ボランティア団体・個人の連携促進
 - ・各種ボランティア団体や個人へボランティア活動保険助成を行い、活動支援を行います。
 - ・ボランティア交流研修のつどいを実施します。
- ③市民福祉講座の開催
 - ・市民の関心が高い福祉問題をテーマにし、地域福祉活動への理解と参画を進めます。
- ④除雪ボランティア活動の推進
 - ・除雪に難儀する高齢者世帯や障がい者世帯に対し、市民ボランティアによる除雪支援を行います。
- ⑤精神保健ボランティア育成事業
 - ・サロン活動など精神障がい者への支援活動とボランティアの育成を行います。

(2) 各種福祉団体育成活動の推進

- ①活動費助成・事務局支援の実施
 - ・鹿角市身体障害者協会、鹿角市遺族会
- ②活動費助成支援の実施
 - ・鹿角市老人クラブ連合会、鹿角手をつなぐ親の会、里親会、保護司会、あんずの会

1-4 災害時に対応できる地域づくり

(1) 災害時に対応できる地域の体制整備

- ・災害時のボランティア活動ができる人材を育成します。
- ①災害ボランティア養成研修の実施と登録制度の導入
 - ②組織化（マニュアル整備など）に向けた取り組み

1-5 法外援護活動

(1) 災害見舞金の支給

- ・火事、天災などによる家屋の破損被害に応じて災害見舞金を支給します。（全焼・全壊：2万円、半焼・半壊1万円）

2. 安心して地域で暮らせるまちづくり

2-1 相談支援体制の整備

(1) 福祉相談事業

- ①「心配ごと相談」の実施（月～金曜日）
 - ・職員が窓口や電話による相談を行い、身近な相談窓口づくりを行います。
- ②小地域ネットワーク活動と連動した「出張ふくし相談会」や戸別訪問活動による相談の実施
 - ・職員の福祉資格保有者（社会福祉士・介護福祉士・社会福祉主事・介護支援専門員など）が、地域に向き相談を行います。必要な場合は関係機関に引き継ぎも行っていきます。
- ③関係機関・団体等との連携強化
 - ・地域包括ケア推進会議や障がい者自立支援協議会などへ委員参加により情報の共有に努めます。
- ④民生委員・児童委員との連携強化
 - ・民生委員・児童委員協議会と連携し、定期的な定例会の参加など行い情報交換を図ります。

2-2 市民に分かりやすいふくし情報の提供

(1) 福祉に関する情報提供の整備

- ①社協だより「社会福祉かつの」の発行（毎月発行）
- ②ホームページによる地域の福祉活動などの情報を発信（随時更新）

(2) 「かつの元気フェスタ」の実施による福祉活動の啓蒙

- ・鹿角市の福祉と産業が一体となり、子供からお年寄りまで、ともに生きる福祉のまちづくりをめざして開催します。

(3) 鹿角市社会福祉大会の実施

- ・社会福祉事業活動において功績顕著な個人・団体等の表彰と、様々な分野で活躍されている講師をお招きしての記念講演を行います。

2-3 安心して暮らせるための生活支援サービス

(1) 移送サービス事業の実施：（鹿角市委託事業）

- ・車イス等で公共機関の利用が困難な高齢者や障がい者に対して、病院への送迎サービスを実施します。
- ・車輛の老朽が見られているため、新規車輛の確保に努めます。

(2) 食事サービス事業の実施：（鹿角市委託事業）

- ①週2回の栄養バランスを考慮した夕食を一人暮らし高齢者等の自宅へお届けします。（配食型）
- ②小地域ネットワーク活動の一環とした集まりの際の会食などへの食事をお届けします。（会食型）

(3) まごころ訪問サービス事業の実施

- ・介護保険法や障害者総合支援法など公的な制度の狭間でサービス利用が困難な高齢者や障がい者へ、家事援助等のサービスを提供します。

(4) 介護機器の貸出と介護用品の斡旋

- ・車イスや介護ベットなどの介護機器の無料貸出と、紙おむつなどの介護用品の斡旋を行います。

2-4 安心して暮らせるための福祉サービス

(1) 福祉サービスの提供

介護保険サービス、障がい者福祉サービスを戦略的に実施します。

- ①居宅介護支援事業の実施：様々な相談に親身に対応し信頼される事業所を目指します。
 - ・ケアプランの作成、相談援助、事業所との連絡調整を行います。
 - ・介護認定調査の実施。（鹿角市委託事業）
- ②訪問介護事業の実施：利用者の思いに寄り添ったサービスの提供を心がけていきます。
 - ・調理や掃除などの生活援助、排泄や入浴などの身体介護、病院への送迎の乗降介助を実施します。
 - ・障害者総合支援法による障がい者へのサービス提供も行います。
- ③特定旅客自動車有償移送サービスの実施：公共交通機関が利用できない方を支援していきます。
 - ・訪問介護事業所を利用されている方の病院等への有償サービスを行います。
- ④特定相談支援事業の開設：障害者総合支援法による障がい者への相談支援の強化を図ります。
 - ・サービス利用計画書の作成、相談援助、事業所との連絡調整を行います。

(2) 自立支援へ向けた対応

①特定高齢者通所型介護予防事業「ゆうゆうクラブ」の受託

- ・要介護状態にならないよう、定期的に適切な運動を指導し機能低下を防ぐサービスを、老人福祉センタ

一かから荘で行います。(鹿角市委託事業)

②鹿角市地域包括支援センターや関係機関との連携します。(困難ケースの対応や予防プランの委託など)

(3) 介護従事者の資質の向上

①事業所間の職員交流研修を実施します。

②事業所ネットワークの構築：鹿角市全体における事業所間ネットワークの構築を図ります。

・鹿角市訪問介護事業所連絡会、鹿角市介護支援専門員連絡会への参加します。

2-5 サービス利用者の権利を守るための取り組み

(1) 福祉サービスの利用促進

①鹿角地区福祉生活サポートセンターによる日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の実施

・物忘れが頻繁だったり、自分で判断することがスムーズにできない一人暮らしで、親族等からの援助が受けられない方に対し、金銭管理や重要書類などの預かりサービスを行うことで自立生活の支援をするサービスを実施します。

②生活福祉資金の相談・受付の実施

・低所得者、高齢者、障がい者世帯に対し目的別の資金貸付の窓口業務を行います。

③たすけあい資金の貸付

・手持ちのお金のない方に対し一時緊急避難的に5万円を限度に貸出し、生活を支援します。

(2) サービス利用者の苦情解決体制の継続

①苦情相談窓口の設置

・各事業所に苦情解決責任者・苦情受付担当者を置き苦情相談窓口で対応します。

②福祉サービス苦情処理第三者委員会を設置します。

・利用者の権利擁護のため第三者機関を設置し、苦情に対して誠意ある適切な対応に努めるとともに、サービスの質の向上に努めます。

(3) 介護サービス情報公表制度の実施

①インターネットを利用し、事業所の情報を公開します。

3. 思いやりのある子供を育てるまちづくり

3-1 福祉教育の推進

(1) 学校教育との連携

①学校への福祉授業の推進活動

・学校で行われる福祉教育の取り組みに対して、体験活動の指導など相談援助活動を行います。

②ボランティア初心者講習会の開催

・思いやりの心を育むことを目的に、市内全中学校で疑似体験を中心に講習会を行います。

③青少年広域ボランティアフォーラムの開催支援

・鹿角郡市周辺圏域の児童生徒が「ボランティア」をテーマにし、企画から開催までを自ら行うフォーラムの運営を支援します。

④若者のボランティア活動への参加促進

・各種行事やイベント運営ボランティアや除雪ボランティアなど、気軽に参加できるボランティア活動を紹介し幅広く若者の参加を促していきます。

4. 社会福祉協議会の基盤強化

4-1 組織の充実

①理事会、評議員会の開催（理事会3回、評議員会2回程度開催）

- ②会議の開催：正副会長会議、職員会議、事業所別会議
- ③第3期鹿角市地域福祉活動計画（平成26～30年度）の進行管理
- ④事務局組織体制の強化
 - ・職員の資質向上を図り、適材適所の職員配置を行い組織体制の強化に努めます。

4-2 財政基盤の強化

- ①会員募集による自主財源の確保
 - 一般会員 1口 500円：全世帯の加入率を目指します。
 - ・社協活動を理解していただき、多くの方に会員になっていただくよう自治会を通じお願いしていきます。
 - 賛助会員（1口 1千円）、法人会員（1口 5千円）の増加を目指します。
- ②効率的な経営感覚修得の推進
 - ・公認会計事務所による定期的な会計指導を受ける。
 - ・事業評価やコスト管理など職員個々の経営意識の向上に努めます。
- ③新会計基準への移行準備
 - ・平成27年度予算からの移行準備を進めていきます。

4-3 職員体制の整備と資質向上

- ①人事労務管理の整備
 - ・職員の士気高揚と効率的で質の高い組織運営を図るため人事管理体制の構築を検討。
 - ・人材育成の一環として職員個人及び職場の目標を設定し業務遂行に努めます。
- ③職員の資質向上を目的とした計画的な研修の実施
- ④職員の資格取得の促進
 - ・介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などの資格取得を推奨します。
- ⑤ヒヤリハット報告、事故報告に基づく検証と業務改善

5. その他団体事務

5-1 秋田県共同募金会鹿角市共同募金会

- ①共同募金運動の実施
 - ・赤い羽根募金、歳末たすけあい募金を一元化して実施します。
- ②歳末助け合い事業の実施
 - ・一人暮らし高齢者や生活困窮世帯を支援します。（見舞金7千～1万円を支給）
- ③配分申請調整機能の充実
 - ・配分申請受付、連絡調整を行います。（社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体等に周知）
- ④罹災世帯支援活動（災害緊急見舞金交付）
 - ・火事、天災などによる家屋の破損被害に応じて災害見舞金を支給します。（全焼・全壊：2万円、半焼・半壊1万円）

5-2 日本赤十字社秋田県支部鹿角市地区

- ①赤十字奉仕団の支援・社員増強運動、社資募集
 - ・日本赤十字社社員の募集（社資 500円）、社員管理事務を行います。
- ②災害救護物資・災害見舞金贈呈
 - ・火事、天災などによる家屋の破損被害に応じて、救護物資・見舞金を支給します。（2万円）

5-3 鹿角市民生児童委員協議会

- ①鹿角市民生児童委員協議会の事務受託
- ②市内4地区民生児童委員協議会の事務受託